



正面玄関入口、図書室の外側に何やら見慣れぬプレートが設置されたのに気づきましたか？これは避難所であることを示したプレートです。

あなたは本当に避難できますか？



20年ほど前に「鳥取県西部地震」という鳥取県西部を震源とした地震がありました。当時、私は大阪で研修を受けていたのですが、大阪に居た私でさえ、その揺れははっきりとわかる大きな地震でした。家族に当時のことを聞いてみてください。本当に災害はいつ来るのかわからないのです。

テレビのニュースを見ると、災害が発生しそうなとき、あるいは発生したときには、公民館や学校が避難場所となっている光景をよく目にします。そのため、全ての公民館や学校は避難場所だと思っている人も多いのではないのでしょうか。

さて、私たちも年に2回避難訓練を学校で実施していますね。最近では啓成小学校が工事のため、小学校と合同で高校へ避難する訓練を行っています。また避難訓練か・・・、なんて思う人はいませんよね。工業高校の生徒には避難訓練を行う意義を日常の学習から理解してもらっているはずですが、例えば、実習等で新しい工具を使用したり、装置を初めて扱うときには、手順を確認したり、操作のコツを意識しながら扱いますが、慣れてくると意識しなくても手際よく、手早く扱えるようになりますね。

避難訓練も同じことで、最初は何に気をつけてどう行動すれば良いのかを考えながら動いていると、避難までの時間がかかったり、間違った行動をしてしまうことがあります。しかし、何度か意識して繰り返していると短時間で適切な避難が可能となります。いつ起きるかわからない災害や事故に直面したとき、少しでも被害を少なくするために短時間で適切な行動を実現するには、やはり日頃からの意識した訓練が大切です。

いつもの避難訓練は天気の良いときに外へ避難する、雨であれば体育館へ避難するという訓練が多いのですが、実際には雨の中、外へ避難する必要がある場合や教室や廊下の窓ガラスが散乱した状態での避難もあり得ます。だからといってそのような状態で訓練をするのは難しいですね。そんなときには机上での避難訓練をしましょう。雨の日に、もし避難することになったらどうしなければいけないのでしょうか？自分たちの服装や、雨の時に必要なものなど、色々書き出してみるのも避難訓練の一つになります。

さて、もしも今、あなたが避難することになったら、どのように、又どこへ逃げたら良いか、その行動をイメージできますか？